

# 第1回学校保健委員会 報告

7月5日（水）に第1回学校保健委員会を開催いたしました。学校医や学園の職員の方、保護者の代表の方、本校職員が集まり、健康診断の結果や学校環境衛生検査の結果についての報告、協議を行いました。



## 協議 「コロナ禍を経て一子ども達の変化と今後の健康管理や感染症対策」

皆様からたくさんの御意見や御助言をいただきましたので、紹介させていただきます。

### 保護者より

#### （家庭での子どもの様子や感染症対策など）

- マスクをして外出をしている。マスクや手指消毒に慣れてきたので、継続していきたい。
- 外出先でマスクを外している人が増えてきているので、室内で密な場合はすぐに外に出ている。
- 気を抜かずに対策をしていきたいが、慎重になりすぎると何もできなくなってしまうので、悩ましい。
- コロナ流行で対人的なやりとりや買い物などの実体験が減り、子どもに影響したと感じた。



### 学校より

- 換気などの基本的な感染症対策をしながら、学部集会や他校との交流会など、直接会って活動することができた。今後も触れ合える活動等していけるとよい。



### 学園より

- 外から学園に戻る際にはアルコール消毒を徹底している。
- 職員はマスク着用、CO2モニターを見ながら換気をしている。

### 学校医より

- 行動が制限されて、ストレス状態が何年も続いている。リスクが高い人、高くない人で分けて考える必要がある。コロナは風邪とは異なるので拡大予防は大事である。
- コロナ禍で不登校が増え、心の問題で受診する人も多い。集団での経験や交流が心を育てていたため、感染対策をしながら心を育むことがこれからの課題である。
- アルコール消毒、手洗い等は子どもたちも覚えたので継続していくとよい。症状がある場合はマスクをする、熱中症にならないように適宜外すなど、子ども判断よりも家庭で判断するとよい。マスクをした方がよい場面、しなくてもよい場면을強制しすぎず、分かりやすく伝えていけるとよい。
- 基本的な感染予防対策と換気の継続を。CO2デジタルモニターは低くでる場合もあるが、意識を持たせるために活用していくのも良いのではないかな。
- マスクの中で口が開いていると口臭の原因となる。口呼吸等に注意したい。

